

安全・安心まちづくりNews 第164号

家で考えよう！我が家の安全ルール



自宅で子供だけが過ごす時間はとても心配です。事件、事故に巻き込まれないためにも、ぜひ『我が家のルール』を話し合ってお作りください。ルールは《やみくも》に押し付けるのではなく、なぜそのルールが必要なのかを具体的に理解させましょう。子供の発達段階はそれぞれで、できることできないことが様々です。子供自身に「安全か安全でないかを見極める力」をつけてあげましょう。

もし誰かが来たら・・・



安全であるはずの自宅も、不審者の侵入を許してしまった瞬間に危険な犯罪現場になってしまいます。あなたの家庭はどんなルールを作りますか？

たとえば

- ・ ドアを開けない。
(チャイムが鳴ってもでなくていい)
- ・ カギをかけて対応する。
(チェーンもしておく)
- ・ 「家に子供だけにいる」ことを悟られないようにする。『母は今、手が離せません』
- ・ 業者を装う場合も。『夜にもう一度きてください』

電話がかかってきたら・・・



「子供がでた＝大人がいない」と判断されることも

たとえば

- ・ ナンバーディスプレイをみて、知らない人からの電話にはでない。
- ・ 留守番電話にしておく。
- ・ 迷惑電話防止機能のある電話を導入する。
- ・ 「1回鳴らして切って、次架かたらママね」と決めておく。

電話にでたとき・・・

- ・ 『母は今、手が離せないの、後でかけ直してください』きちんとと言えるように電話の近くに紙に書いて貼っておく。
- ・ 話がしつこい場合はすぐ切る。
名前や住所、家族構成、友達の名前等教えては悪用される危険性があります。
『わかりません、知りません』

家のカギ、持たせておく？



たとえば

- ・ 家のカギは、人から見えないように持ち歩く。
- ・ 錠を開けるときは、周囲を確認してすばやく入り施錠する。
- ・ 家の中に人がいるように『ただいま！』という。
- ・ カギを持つことは誇らしいが、悪い人に聞かれないためにも友達に言いふらさない。
- ・ 子供が出掛けるときは、何らかの手段で親に伝えるように。「いつ、どこで、だれと、何時に帰る」と約束させる。また錠のかけ忘れがないかしっかり言い含める。
- ・ なくすのが心配だからと、玄関マットや植木鉢の下にカギをおかない。



もしものとき、どうすればよいかも具体的に教えておきましょう。

- ・ 親にすぐ電話をする。
(連絡先が複数あると安心)
- ・ 警察(110番) 消防(119番) や 近所の●●さんを頼る。 など



親が「どこにいる」「何時に帰る」などのスケジュールや連絡先(携帯番号等)を子供にわかるように貼っておきましょう。

親がいない間、子供は不安なものです。安心させるためにも親の行動を覚えておき、帰る時間等しっかり守りましょう。(親もルールは守って！)

